

15

女の

ろが
落
ち
た
先
は、

俺の
息子
の
先
っ
ぽ
で
し
た。

鳩
こんろ
HATOKONRO



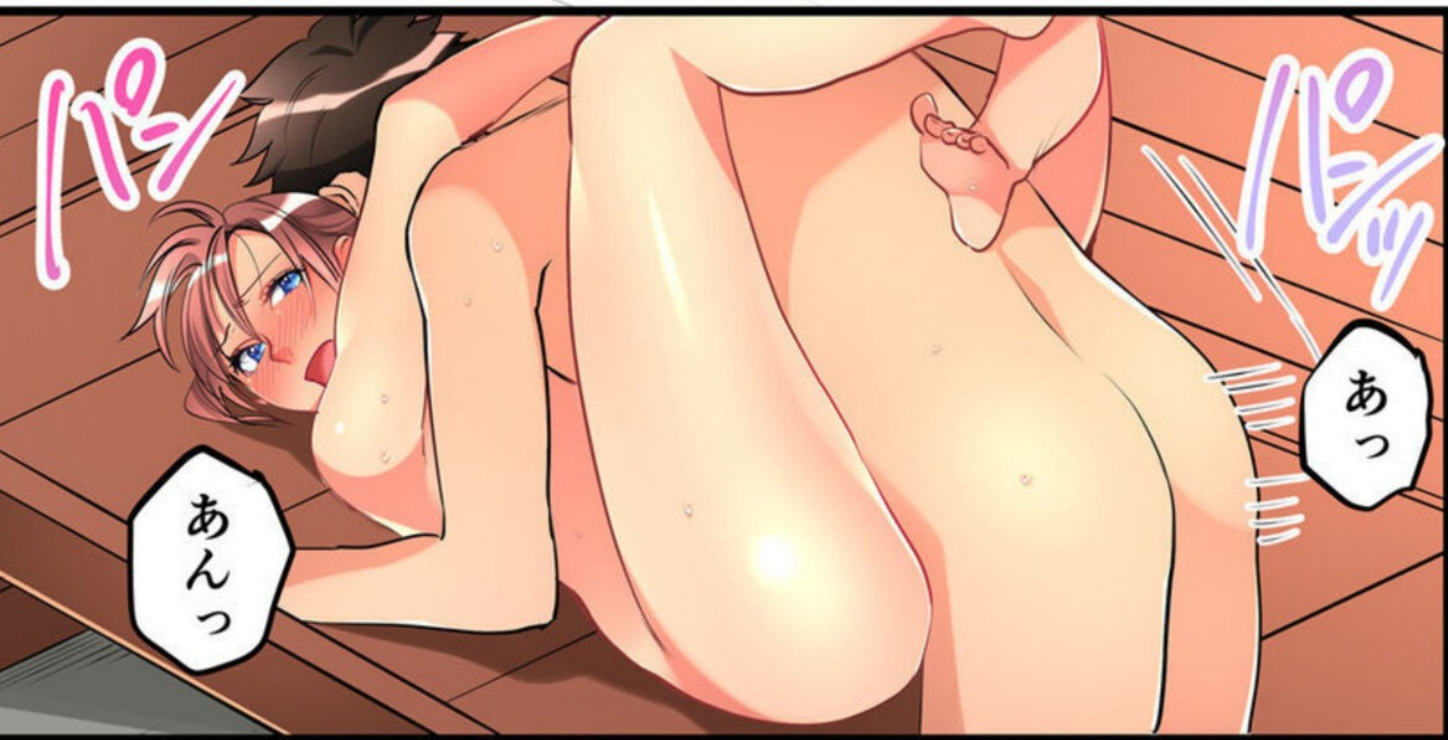
女の子が落ちた先は、
俺の息子の先っぽでした。

第 15 話



あつ

あつ



パツ

パツ

あつ

あんっ



パツ

やべ…
もう止まんね…

パツ

パツ

あんっ



パツ

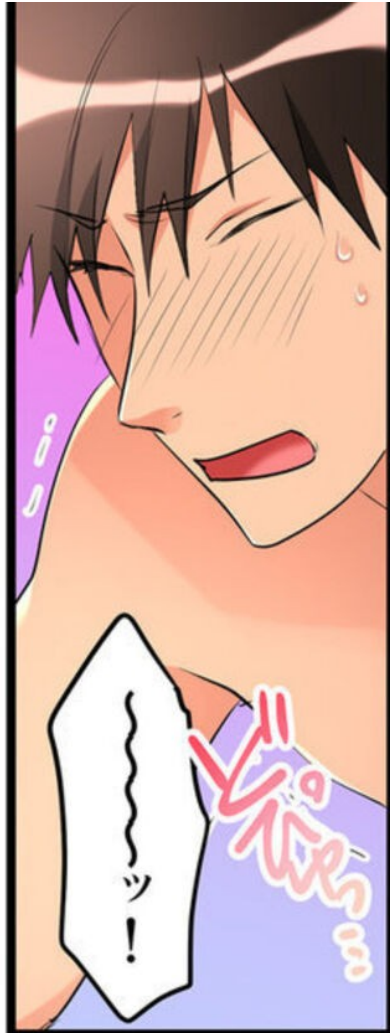
ああつ

パツ



ホントに
声でけえって…!

いいで…しょ
別に…っ



~~~~ツ!

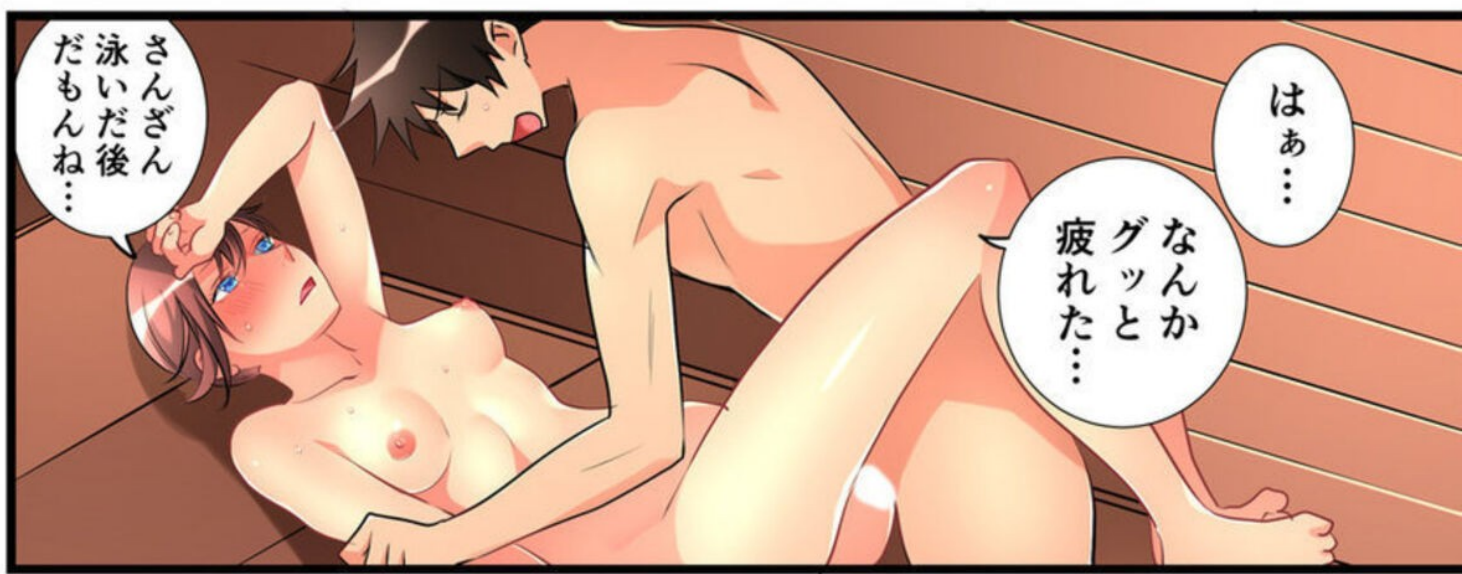


あつ やだつ

イクツ

パ

パ



はあ...

なんかグツと疲れた...

さんさん 泳いだ後 だもんね...



何だ?

あのさ...相川さん お願いがあるんだけど



隅っこに置いてあったよ

外に出したからお腹汚れちゃったじゃん... ティッシュとかないの?



よ…  
よかったら  
これからも

砂生<sup>すなお</sup>って  
呼んでくれないかな…

その…  
名前呼びすぎく  
嬉しかったから…



はあ…

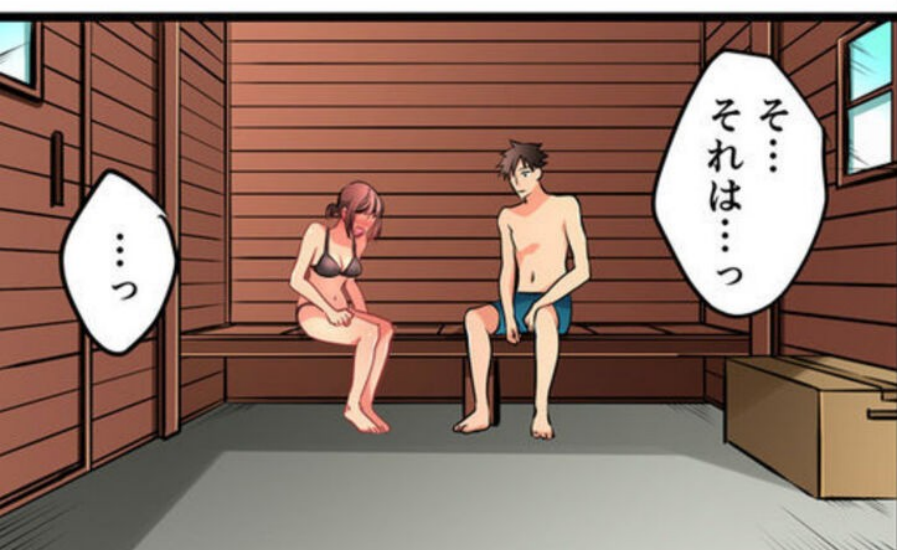
名前呼びびって  
そんなに嬉しい  
もんなのかな？

女子の心理は  
よくわからん！



じゃあ  
俺の事も  
壮介って  
呼んでくれ！

ええっ!?



そ…  
それは…っ

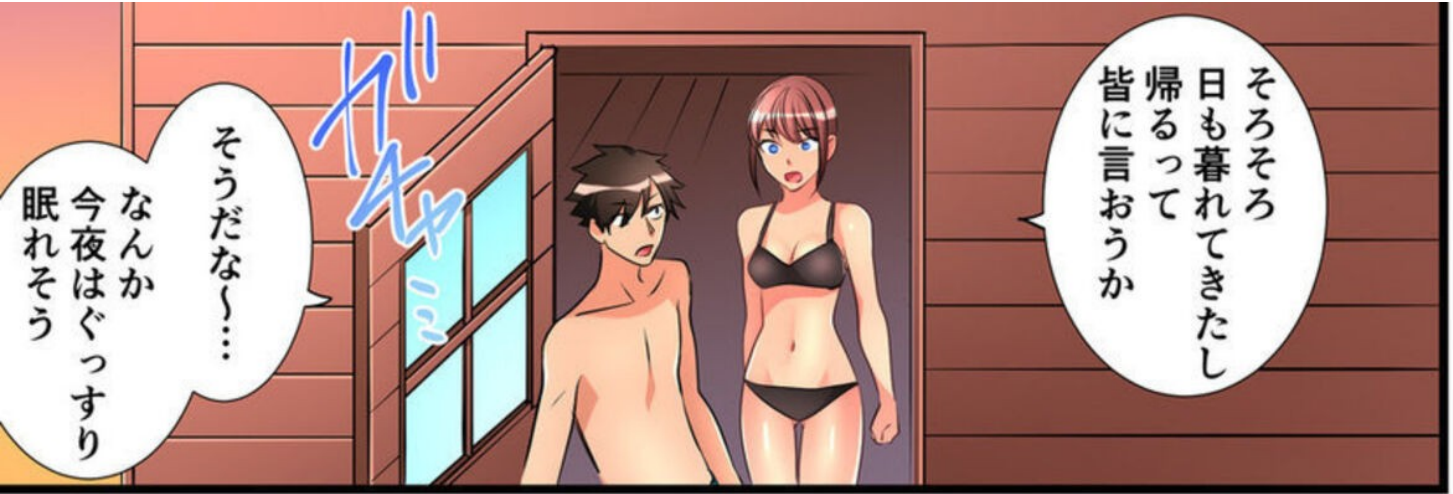
…っ



いいぜ!

マジ!?





そろそろ  
日も暮れてきたし  
帰るって  
皆に言おうか

ガキヤミ

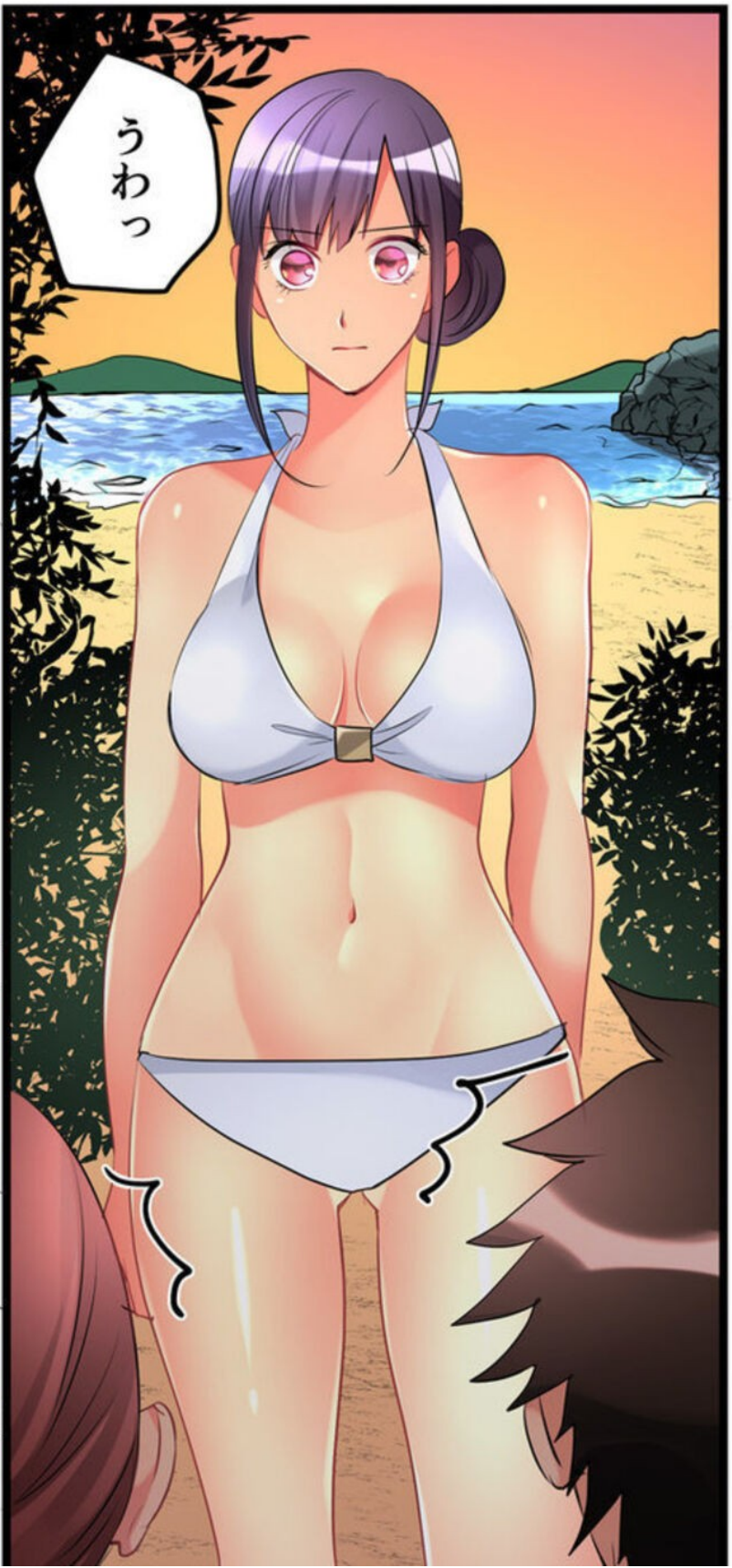
そうだな〜…

なんか  
今夜はぐっすり  
眠れそう



びっくりした！…  
どうしたんですか  
清水さん

2人を探しに  
来て…  
それで丁度  
この小屋に



うわっ



こんなに長時間  
何してたんですか？

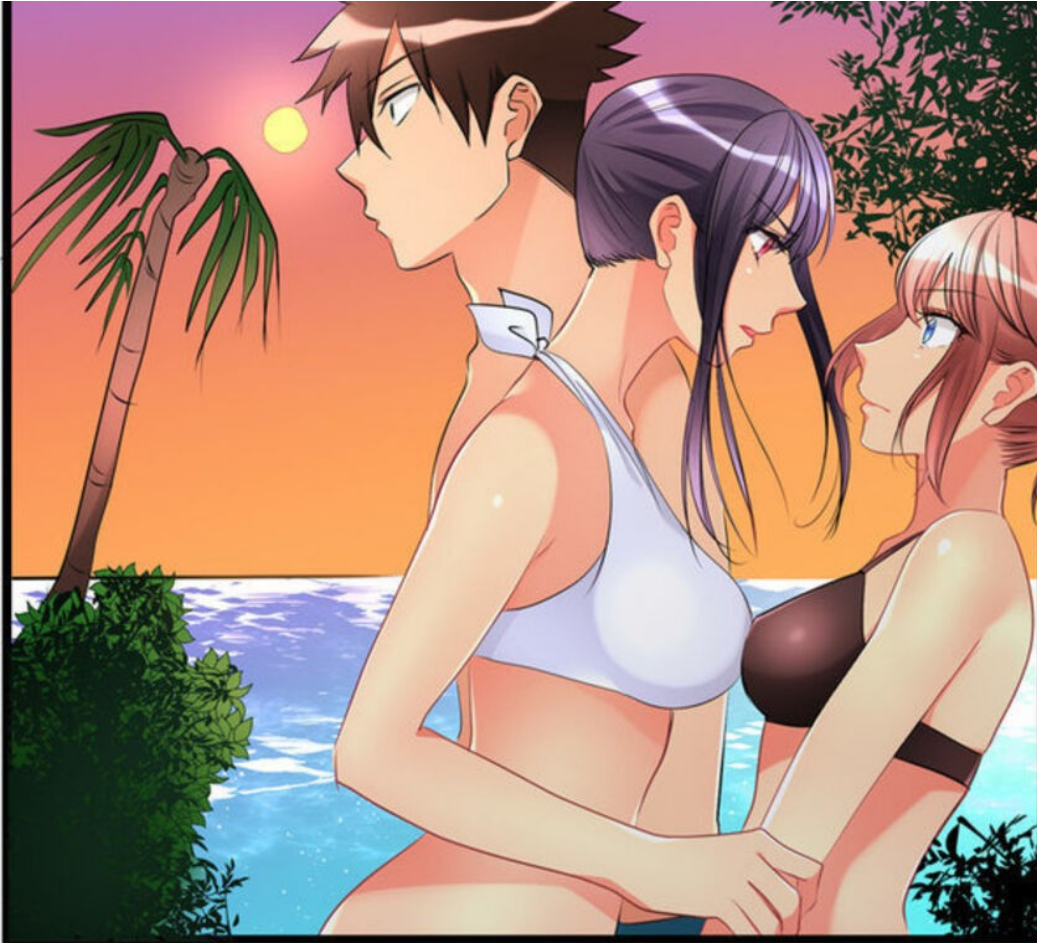
心配  
したんだから…




何…っていうか  
疲れてたから  
休憩してた  
だけだよ

心配かけたのは  
ごめん謝る







なんで  
あなた  
ばかり…



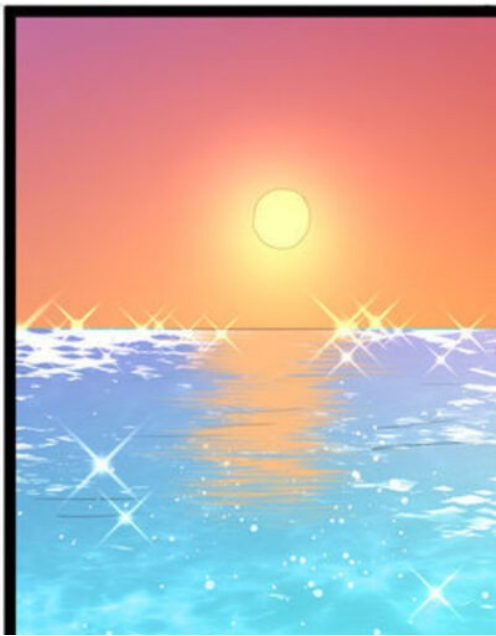
柚子さんも  
待ってますし…



シャワー浴びて  
帰りましょうか

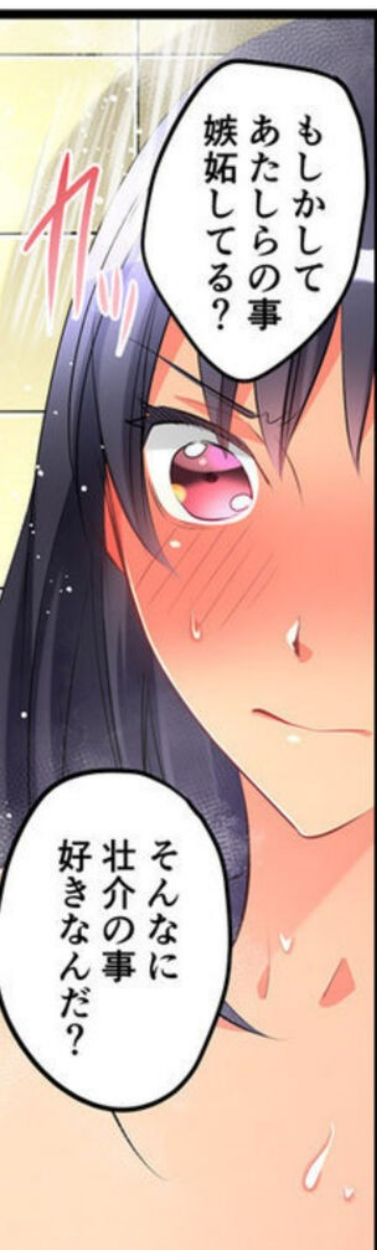
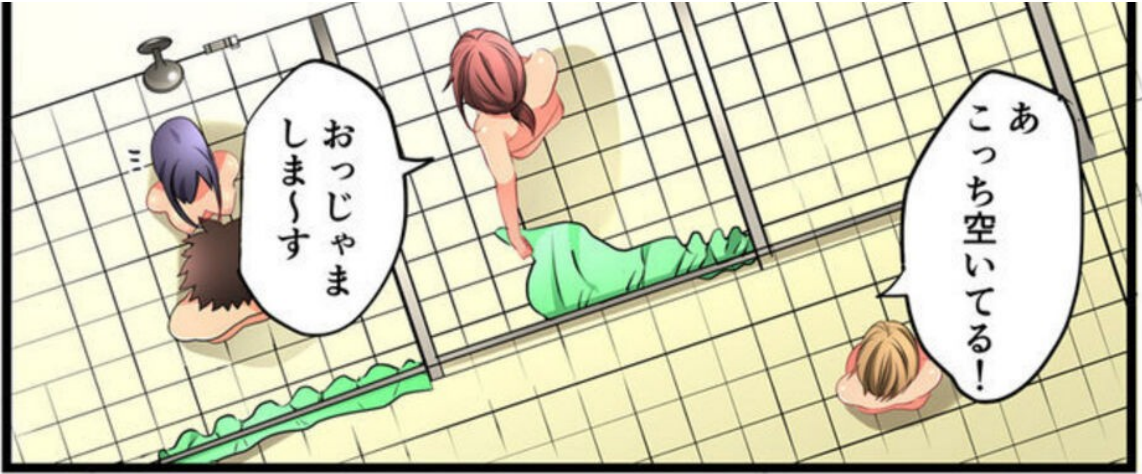


なんてね









あんな人  
大っ嫌いよ！

ピク

良いところなんて  
ひとつもない！

女癖は悪いし  
フラフラしてるし  
部屋は壊しまくるし

え？

ちょっと  
相川君！  
何してるの…!?

ピク  
ピク

……！





もう…  
相川君の話は  
や…やめましょう



なん…でも  
ないわ



まあお互い  
好きって気持ちは  
一緒だから？  
壮介に振り向いて  
もらえるまで  
頑張ろうよ



そうだね  
あんまり  
由紀ちゃん  
と喧嘩したくないし



人生最大の  
モチ期かも…

嬉しいなあ

もみもみ



清水さん俺の事  
そんなに好き  
だったんですか？

ちが…っ

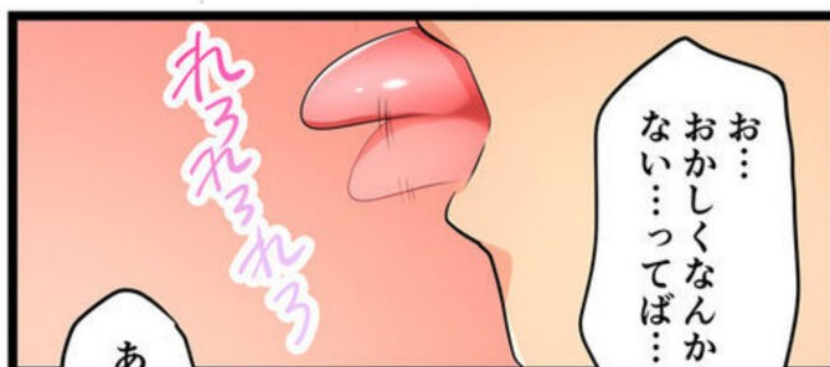


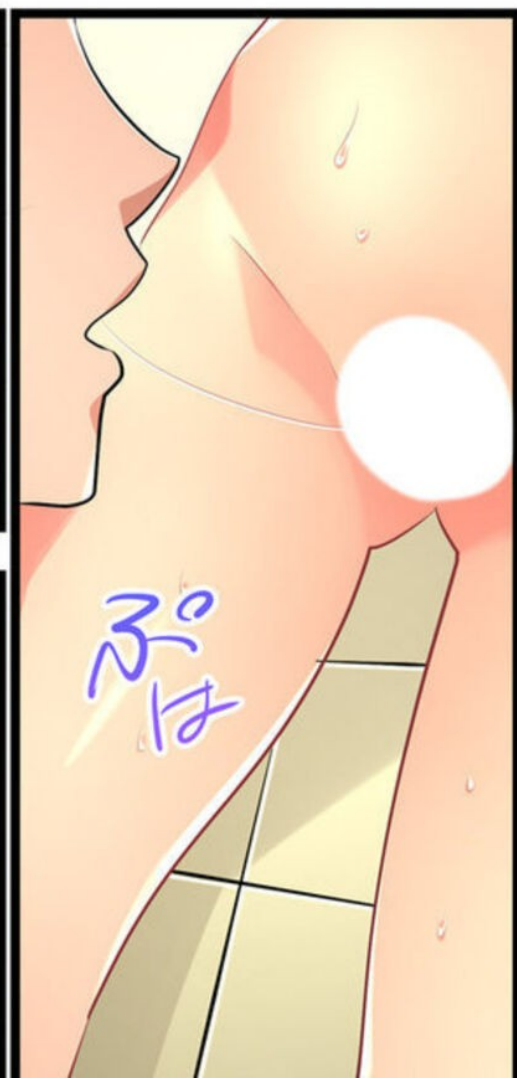
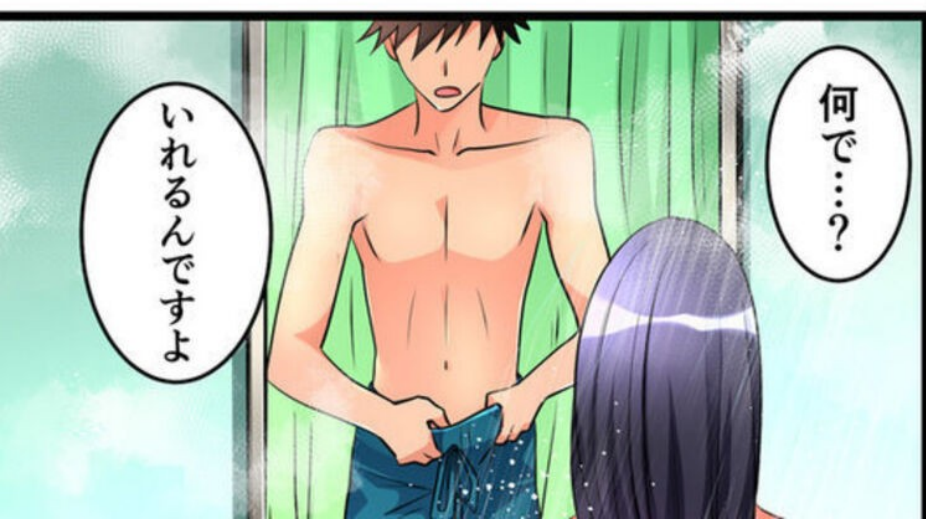
うぬぼれないで  
よね…っ

そうやって  
すぐ調子乗る  
ところなんて  
本当に嫌い  
なんだから…っ











これを

ふん



ほら  
恥ずかし  
がらないで  
本当のエッチ  
教えて欲しいん  
ですよ?

ふん



へた

こ  
ころ...?



でも...  
どうしたらいいか  
わからなくて...



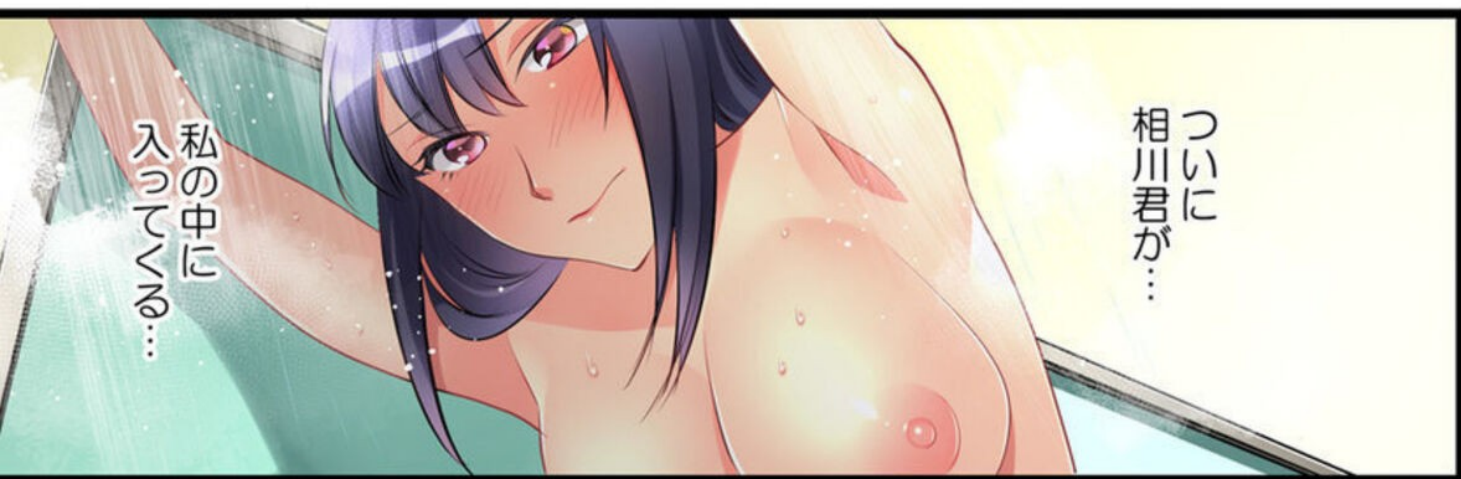
大丈夫  
俺に任せて  
お尻  
突き出して  
ください



これが…  
清水さんとの  
初めて…

今まで  
最後まで  
できなかつた  
からな…

ちよっと  
感動



ついに  
相川君が…

私の中に  
入ってくる…



怖いけど…

相川君と  
繋がれるなら  
嬉しい…

まじっ



あうっ…



じゃあ…  
挿入れますね…

ズンズン



アッ  
アッ

!!!



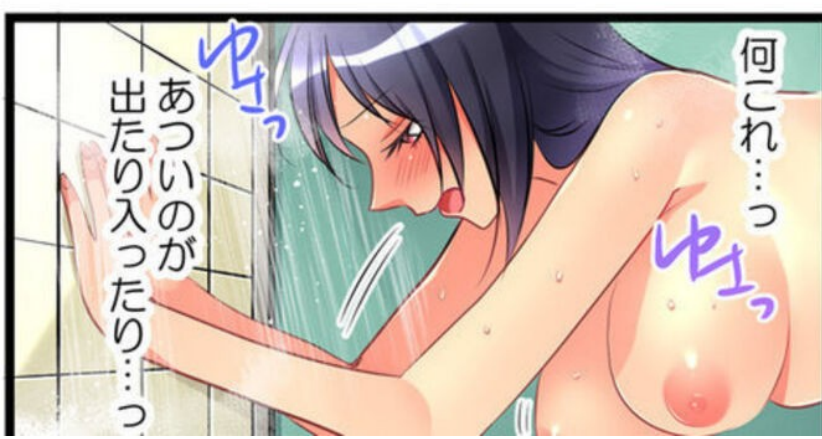
…っ

う…  
動かしませよ



うっ…  
うっ…

すごい  
締め付けた…っ



あついのが  
出たり入ったり…っ

何これ…っ

ゆっっ





はい……っ

は……



俺……  
嬉しいです

清水さんと  
こうやって  
繋がれて



ぼろ雑巾みたいに  
働かされて  
帰って来た時の  
唯一の癒しが……

清水さん  
だったんです



ずっと  
清水さんの事……  
憧れてたから……

あのアパートに  
入った時から……



そう……  
なの……？



まだ俺の事  
嫌いですか？

ここまで  
言っても



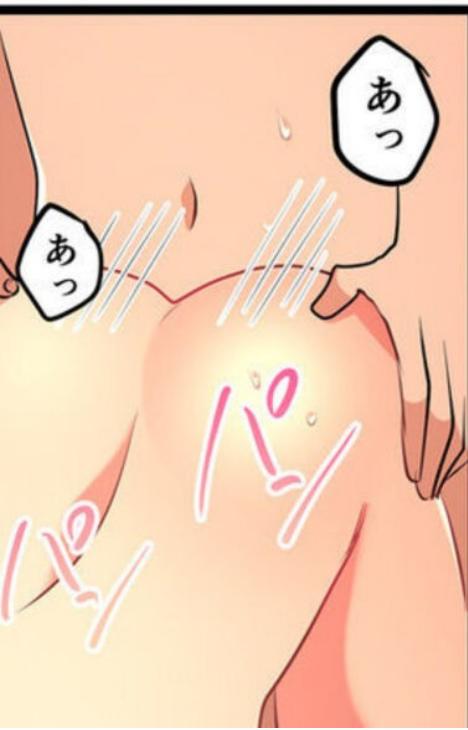
大っ嫌い

ええ嫌いよ



うっ

うっ…



あっ

あっ



じゃあもっと  
抵抗しても  
いいんじゃないですか？

…ッあ！

うっ



わ…  
わたしだって…



だから  
私の事も…



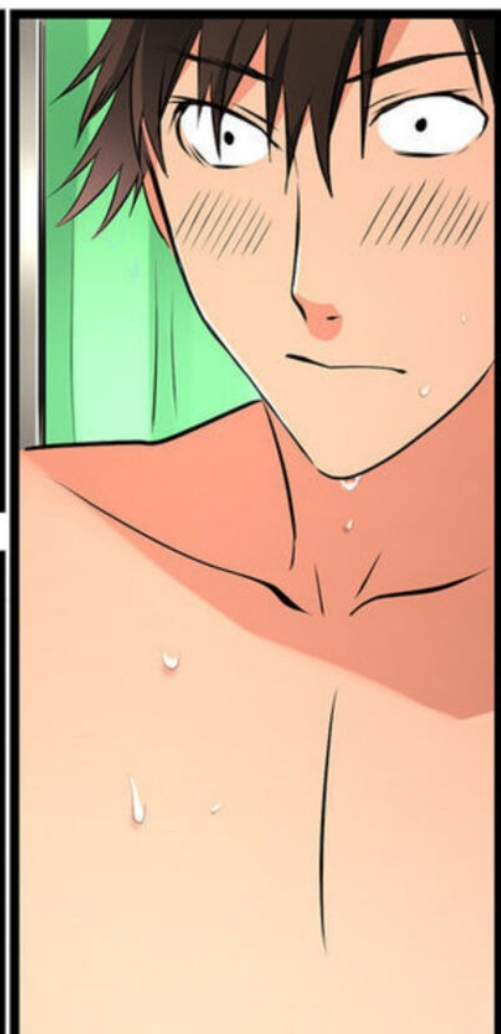
相川君の事  
ずっと…  
見てきたし…

砂生ちゃんになんか…  
取られたくないって  
思ってる…



由紀って  
呼んで…？







え…



由紀さんが  
可愛すぎる  
からですよ



んっっ

スグッ



だから…  
いいですよ



…もじ…



えっ

じゃあ…  
いきますよ

女の子が落ちた先は、  
俺の息子の先っぽでした。(15)

著者 鳩こんろ

発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、  
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。